

2011年度 日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点 研究プロジェクト 研究計画書

2011年4月22日提出

1. 研究プロジェクト名		バーチャル京都
2. 研究プロジェクト代表者		矢野桂司 (中谷友樹、河角龍典、金田章裕、田中覚)
3. 研究班 メインとなる研究班 その他		京都文化研究班
		日本文化研究班
		歴史地理情報研究班
		デジタルアーカイブ技術研究班
		Web活用技術研究班
4. 研究期間		2011年 4月 ~ 2012年 3月
5. 研究メンバー		
種別	氏名	所属・職名
事業推進担当者	矢野桂司	立命館大学大学院文学研究科・教授
	中谷友樹	立命館大学大学院文学研究科・准教授
	河角龍典	立命館大学文学部・准教授
	金田章裕	人間文化研究機構・機構長, 立命館大学衣笠総合研究機構・特別招聘教授
	田中覚	立命館大学大学院理工学研究科・教授
客員研究員	高瀬裕	立命館大学衣笠総合研究機構
	河原大	株式会社キャドセンター
	井上学	平安女学院大学国際観光学部・講師
	松岡恵悟	立命館大学文学部・非常勤講師
	磯田弦	東北大学大学院理学研究科・准教授
	玉田浩之	京都工芸繊維大学大学院ベンチャーラボラトリー・研究員
	岡本隆明	京都府立総合資料館・学芸員
PD	松本文子	日本学術振興会・特別研究員PD
	桐村喬	立命館大学衣笠総合研究機構・PD
	塚本章宏	立命館大学衣笠総合研究機構・PD
RA	瀬戸寿一	立命館大学大学院文学研究科・D3、日本学術振興会・特別研究員DC2
	飯塚隆藤	立命館大学大学院文学研究科・D2
学内研究協力者	河原典史	立命館大学文学部・准教授
	村中亮夫	立命館大学文学部・講師
	花岡和聖	立命館大学文学部・助教
	渡邊泰崇	立命館大学文学部・実習助手
	本多健一	立命館大学大学院文学研究科・D4
その他	戸所泰子	立命館大学大学院文学研究科・研究生

6. 2011年度教育研究計画（今年度の教育研究内容、目的と結果の予想の関係が理解できるようにご記入ください。特に若手研究者（研究メンバーのPD、博士課程後期課程大学院生）の役割、教育効果を具体的にご説明ください）。

最終年度である今年度は、昨年発見された京都府立総合資料館の「京都市明細図」、昭和29年の火災保険地図、京都市作成の細街路の紙地図データのGIS化を継続的に実施する。また、そうした歴史都市京都の地理空間情報のGISデータを一元化し、配信できるようにすることはもちろん、他の研究機関が作成・所有しているGISデータをも相互利用できるようなプラットフォームを作成する。

過去の京都の地理空間情報（紙地図）をGIS化する作業は、学生バイトをあてがうが、若手研究者に統轄をお願いする。その作業は、効率よくかつ正確に実施する必要があり、若手研究者のマネジメント、研究遂行能力を獲得させることができる。

そして、21世紀COEプログラム、さらに5年間のグローバルCOEプログラムの約10年弱を通して蓄積してきた、歴史都市京都の地理空間情報のGISデータを整理し、公開する作業は、事業推進担当者と若手研究者との協同で達成されるべきものと考えている。

以下、今年度の具体的な計画内容は、以下のようである。

1. GISデータベース

- 1) バーチャル京都のアップデート
 - ・ 明治・大正期
 - ・ 平安京
- 2) 大正11年都市計画図のGIS化
- 3) 近代・現代の統計データの入力
- 4) 京都市明細図
 - ・ rectifyとclipまで終了予定
 - ・ Polygon化
- 5) 火災保険地図
 - ・ Polygon化
- 6) 京都市細街路
 - ・ rectifyとclipまで終了予定
 - ・ Polygon化
- 7) 京町家調査関係
 - ・ テープ起こし
 - ・ 京町家出前セミナー & アトラス関係
- 8) 古写真関係
 - ・ 購入書籍のスキャニング・DB化
 - ・ 岡尾先生案件
- 9) GISデータの公開のためのデータの整理
- 10) 祇園祭のデジタル・アーカイブ関連

2. 学会発表など

- 1) 祇園祭・船鉾の内部構造可視化に関する国内外での成果発表
- 2) 英国イースト・アングリアでの国際シンポ
- 3) チリ・サンチアゴでの国際地理学会議
- 4) G空間エキスポ（流れたので10月の鹿児島でのGIS学会）
- 5) 歴史GISの国際シンポジウム（1-2月を想定）

7. 教育研究計画・方法		
教育研究目的を達成するための計画・方法、実施する場所をできるだけ具体的に記入してください		
実施時期	計画内容	実施場所
2011年4月-2012年3月	歴史都市京都の地理空間情報のGISデータの作成 1) バーチャル京都のアップデート ・ 明治・大正期 ・ 平安京 2) 大正11年都市計画図のGIS化 3) 近代・現代の統計データの入力 4) 京都市明細図 ・ rectifyとclipまで終了予定 ・ Polygon化 5) 火災保険地図 ・ Polygon化 6) 京都市細街路 ・ rectifyとclipまで終了予定 ・ Polygon化 7) 京町家調査関係 ・ テープ起こし ・ 京町家出前セミナー & アトラス関係 8) 古写真関係 ・ 購入書籍のスキャニング・DB化 ・ 岡尾先生案件 9) GISデータの公開のためのデータの整理	歴史都市防災研究センター（GIS室、第3プロジェクト室） 清心館2階GIS室
2011年6月	「京都市明細図」のワークショップ開催	
2011年6月	英国イースト・アングリアでの国際シンポ	
2011年7月	祇園祭のデジタル・アーカイブ化	
2011年10月	鹿児島でのGIS学会	
2011年11月	チリ・サンチアゴでの国際地理学会議	
2012年2月	歴史GISに関する国際シンポジウム 海外2名 国内2名	